

室生小だより 「桜梅桃李」

No.4

令和5年 5月26日(金)

(<http://www.murou-e.ed.city.uda.nara.jp/>)

1年生を迎える会

5月11日(木)に1年生を迎える会を行いました。今年は遠足と切り離し、学校で集会形式で行いました。

まず、1年生が自己紹介をした後、縦割り班でゲームを2つしました。1つは、キャラクターや先生のカードを使ったか



かるた「カードゲットだぜ」。もう一つは13個の空き缶を高く積んでいく「あきかんつむつむ」でした。どちらも1年生から6年生まで歓声が起こるほど盛り上がりました。

先生方の自己紹介もした後、最後に全校がそろっての記念写真を撮りました。「あっという間に1時間たったね」という3年生の言葉が印象的でした。

また、6年生が明るく元気に司会進行をしてくれました。役割分担や言葉など当日までの準備に時間をかけてくれたことだと思います。こういう陰の努力が1年生を迎える会を成功させたのだと思います。ご苦労様でした。



「月曜も遠足行きたいな」

5月12日(金)に、とってもさわやかな五月晴れに恵まれた中、全校で春の遠足に行きました。今年は平成榛原子供のもり公園です。

家族で訪れた子も多く、慣れた感じで遊具を満

喫していました。また、縦割り班で「じゃんけんで7回勝つ」「ボール運びで2周する」といったミッションをクリアしながらのウオーラリーも楽しみました。「自然に親しむ」「異学年の子と仲良くなる」という目標も達成できたと思います。

保護者のみなさまには、2回のお弁当作りなどご協力くださり、感謝いたします。



読書のススメ Part2

「一般に若い頃に旺盛だった読書熱というものを、年をとっても持ち続けている人はまことに少ない」と批評家の小林秀雄氏は述べています。

本を読む暇がなくなったことは、誰でも気がつきます。だが、本を読もうとする心までなくなったことに人は気付かない、と氏は続けます。

現代は“夜がなくなった”といわれます。携帯やパソコン、ゲーム等、夜の時間を消費できるものが幾つもあります。子どもたちの周囲に娯楽があふれる時代だからこそ、大人が読書の喜びを伝え、率先して本に触れることが必要だと思います。

「栄養を与えるほど、木は大きく育つ。同じように、魂にも『滋養』を与えることである。そのためには読書である」と、ある先人が語っていました。

初夏を迎えたこの時季、未来っ子とともに、良書に挑みませんか。

